

県政150周年 未来への扉を開く

大転換期

明治維新と時を同じくして兵庫県が発足して150年が経とうとする今、世界は大転換期を迎えています。

変化の原動力は、情報通信技術です。情報には時間、空間の壁はありません。情報を瞬時に共有する基盤が地球規模で整い、貨幣までもが国境を超えて飛び交う時代になっています。人工知能が人間の領域を脅かす世界も現実化しています。

経済の勢力図が書き換えられつつあります。今や成長の中心は中国です。例えば、発展著しい広東省の経済力は、友好提携した1983年には本県の半分もありませんでしたが、今では本県の7倍に達しています。次にはインド、さ

らにはアフリカが控えています。

日本では人口減少、高齢化が進んでいます。明治以降増加してきた人口は、少子化により長期の減少局面に入っています。昨年は40万人の自然減、本県でも年1万人以上のペースで減少しています。今後50年、100年にわたる人口減少は避けられません。

しかも、人々の価値観が多様化しています。人とのつながり、時間の豊かさ、健康など、一人一人が自分の大切にする価値を追求する時代になっています。

大きく変化する世界の中にあって、人口が減り、少子高齢化が進む中でも活力を保ち、誰もが豊かさを実感できる地域をつくっていかねばなりません。

主役は県民

振り返れば150年前の日本も大転換期にありました。産業革命により工業化した欧米列強がアジア、アフリカの植民地化に乗り出し、ついにその手が極東の小さな島国に伸びようとしていました。

この大波に立ち向かったのが幕末の若き志士たちでした。明治維新に計画も設計図もありませんでした。過去からの延長線上でしか対処できない幕府に危機感を抱き、列強に対抗できる近代国家を建設しなければならぬという夢を追って果敢に行動した若者たちが新しい国をつくる力となったのです。

そして今、時代を変える志士となるのは、若者をはじめ、今を生きる私たちです。既存

の枠組みを超える新たな発想でこの大転換期を乗り越えていかなければなりません。

未来への扉を開く

兵庫150年の歴史を振り返ると、そこには常に、激しい変化の中でも明るい未来を願い、奮闘してきた人々の姿があります。

気候風土、文化の異なる五国の統合による大兵庫県の誕生。工業化と都市化。不況と戦争。焼け野原からの戦災復興。高度経済成長。阪神・淡路大震災からの創造的復興。そして、その間ずっと続けられてきた、個性豊かな五つの地域が一つになって総合力を発揮する雄県兵庫をつくる取

兵庫県知事
井戸敏三



県政150周年記念事業の展開

今年兵庫県が成立して150周年目に当たります。この節目に県民一人一人が歴史を振り返り、兵庫の未来を考える機会とするため、記念事業を全県で展開していきます。

📍 県政150周年記念事業室 ☎ 078 (362) 4263 📠 078 (362) 3950

主な150周年記念事業

● 県政150周年記念式典

150周年を県民の皆さんと共に祝い、将来の兵庫の姿を共有する機会として開催します。

開催日：7月12日(土)

開催場所：神戸国際会館

内容：芸術文化センター管弦楽団の記念演奏や兵庫2030年の展望(仮称)の発表など

● 「兵庫2030年の展望(仮称)」発表

社会の大きな変化が見込まれる2030年ごろの兵庫の目指す姿とその実現に向けた取り組みの方向性等を取りまとめます。

参加しませんか

● 県民連携事業

県民の皆さんが企画・実施する、創意工夫にあふれたさまざまな取り組みを支援します。

事業実施期間：2018年度中

助成額：1団体5万円～50万円

対象：県内で活躍する地域団体、ボランティア団体など

● ひょうご五国博の開催

ふれあいの祭典を「ひょうご五国博」として内容を拡充して開催します。

開催日：10月20日(土)、21日(日)

開催場所：県立明石公園とその周辺

内容：ステージイベント、ブース出演により、ひょうご五国の魅力を発信
※上記の他、五国で地域事業あり

進めていきます

● 初代県庁の復元

初代県庁復元施設の基本設計等を行うとともに、県民が県の成立や兵庫五国の歴史などへの理解を深める県政資料館(仮称)の基本構想・基本計画を策定します。

● 県史の編さん

兵庫県百年史を継ぐ、これまでの歩みを振り返り次代を開く礎となる兵庫県史を編さんします。

対象期間：1967年～2018年

発行時期：2022年3月(予定)

TOPICS

兵庫県の成り立ち

兵庫県が成立したのは神戸開港の翌年、1868(慶応4)年5月23日(新暦7月12日)です。初代知事は、後に初代内閣総理大臣となる伊藤博文。当初は神戸を中心に複数の飛び地を所轄する小さな県でしたが、その後の廃藩置県や併合を経て、1876(明治9)年に現在の県域とほぼ同じ姿となりました。 [兵庫県知事時代の伊藤博文▶](#)



ポータルサイト「兵庫県政150周年」

記念事業で紹介したイベント情報や、漫画「兵庫の歴史」、150周年記念特別映像など、150周年に関する情報を発信しています。 [兵庫県政150周年](#)



り組み。
順風満帆な道のりではあり
ませんでした。その時々
の県民の力で着実に発展への道
を歩んできました。
県政150年を迎える今、
改めて歴史を振り返る意味は
何か。それは、先人たちの夢と

行動が今の兵庫をつくってき
たことを知るためです。未来
を知ることではできなくても、
未来をつくることはできる。
そのことを学ぶためののです。
必要なのは、夢と行動。将
来を不確定と見るか、無限の
可能性が開かれていると見る

かは、私たち次第です。世界
は急速に変わりつつあり、未
来はきつと現在の延長線上に
はありません。既成概念にと
らわれず、変化を恐れること
なく、新しい一歩を踏み出さ
なければなりません。
参画と協働の基本姿勢に立

ち返り、安全安心の確かな基
盤の上に、県民が望む生き方、
働き方ができる地域をつくる、
これこそ兵庫の新時代を拓く
道筋です。
さあ皆さん、未来への扉を
ともに開こうではありません
か。